

3 数学

科目名	数学B	単位数	2 単位	学年	第3 学年	科	普通科
							コース
使用教科書	東京書籍「新編数学B」			副教材	アシストセレクト新編数学Ⅱ+B		

学習の到達目標

確率分布と統計的な推測，数列又はベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい	
一 学 期	4	1 章 数列 1 節 数列 1 数列 2 等差数列	数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解する。 等差数列について関心を深め，一般項 a_n を初項 a ，公差 d を使って表せることを理解する。	
		3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち，それが n を用いて表せることを理解する。 等比数列について関心を深め，一般項 a_n を初項 a ，公差 r を使って表せることを理解する。 等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち，それが n を用いて表せることを理解する。	
	6	2 節 いろいろな数列 1 いろいろな数列の和と記号 Σ 2 階差数列と数列の和	記号 Σ の意味と性質を理解し，自然数の平方の和を Σ を用いて表すことができる。 階差数列から一般項を求めたり，数列の和から一般項を求めたりすることができる。	
		7	3 節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式	数列の帰納的定義について理解し，漸化式を扱うことができる
	二 学 期	9	2 数学的帰納法 2 章 ベクトル 1 節 平面上のベクトル 1 有向線分とベクトル	数学的帰納法について理解し，等式などの証明に利用できる。 平面上のベクトルの考えを理解し，ベクトルに関する基本的な用語・記号に習熟する。
			10	2 ベクトルの加法・減法・実数倍
		11	3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 2 節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル	ベクトルがいくつかの実数の組として表されることを理解し，そのよさを認識する。 ベクトルの内積について理解し，その基本性質を理解する。 位置ベクトルを理解し，平面上の点の位置を表現できるよさを認識する。
12			2 ベクトル図形への応用 3 ベクトル方程式	ベクトルの考えを利用して，平面図形に関するいろいろな問題を考察することができる。 平面上の直線や円を，ベクトルを用いて表せることを理解する。また，媒介変数表示についても理解し，そのよさを認識する。
三 学 期	1	3 節 空間におけるベクトル 1 空間座標 2 空間のベクトル 3 ベクトルの内積 4 位置ベクトルと空間の図形	空間における座標を定め，空間の点が3つの実数の組として表現できることを理解する。 平面と同様に，空間においてもベクトルを考えることができる。 空間のベクトルについても内積を定義し，いろいろな図形の問題に応用できる。 空間においても位置ベクトルを考えることができる。	

学習評価

1. 定期試験での成績に、課題の提出状況を平常点として加え、総合的に判断する。

